

はじめに

(財) 日本農業研究所客員研究員

主査 大賀 圭治

この報告書は、日本農業研究所において 2008 年年度と 2009 年度の 2 年間にわたり、開催した「バイオマス燃料の意義と展望」研究会での報告を取りまとめたものです。

所外からご参加いただいた研究委員は以下の 7 人の方々です。

中川光弘	茨城大学農学部教授
鈴木宣弘	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤信夫	(独) 農畜産業振興機構調査情報部長
谷脇 憲	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 農産エネルギー研究室長
小泉達治	農林水産政策研究所 主任研究員
古橋 元	日本大学生物資源科学部国際地域開発研究所研究員
中山里美	日本大学生物資源科学研究科国際環境経済学研究室研究員

また、当研究所からは、大賀主査以外に、理事長以下、以下の研究員会議メンバー全員が参加しました。

理事長 高橋政行、専務理事 川口将志、理事・研究員 佐伯尚美、参与 亀若誠、研究員 岸康彦、小澤健二、李侖美、客員研究員、服部信司

なお、研究会の幹事は、李侖美 研究員が担当しました。

研究会では、各研究委員からの報告のほか、以下のバイオマス燃料、資源問題等の専門家を講師として報告、議論し、これらを踏まえて、この報告書をまとめました。

下村聡氏 (農林水産省環境政策課バイオマス推進室長)
阮蔚(Ruan Wei) 氏 ((株) 農林中金総合研究所主任研究員)
長島實氏 ((独) 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所研究総括)
石井吉徳氏 (東京大学名誉教授、もったいない学会会長)
大庭潔氏 ((財) 十勝圏振興機構食品加工技術センター研究開発課長)
小池一平氏 (JA 全農営農対策部長)

次ページからの目次に、研究会の開催日時、講師、各回のテーマを記しており、開催記録と

もなっています。

本報告書のとりまとめが2009年3月14日の最終回から約1年と当初の計画から大幅に遅れたのは、ひとえに主査の責任であり、ご報告をいただいた諸先生をはじめ、関係者の深くお詫びします。本報告書がバイオ燃料の食料と競合するという食料の歴史における大変化を理解するための一助になればと願っています。